

『第47回 永田町子ども未来会議』

2023.11.7

インクルーシブ教育の重要性

日米のインクルージョンの概念の差と
今後の課題

NPO法人かるがもCPキッズ

江利川ちひろ

脳性まひの子どもとババママの会



<自己紹介>

江利川ちひろ（えりかわ・ちひろ）／1975年生まれ

- ◇NPO法人かるがもCPキッズ 脳性まひの子どもとパパママの会 代表理事
- ◇神奈川県教育委員会 学校支援課 非常勤職員 （スクールソーシャルワーカー）
- ◇学校法人湘南学園 理事
- ◇かるがも藤沢クリニック 非常勤職員 （医療ソーシャルワーカー）
- ◇社会福祉士

武蔵野大学大学院にて、医療的ケア児の家族支援を中心に研究。

双子の姉妹と年子の弟の母。

長女は医療的ケアが必要な重症心身障害児、長男は軽度肢体不自由児。

2011年、長男を米国ハワイ州のプリスクールへ入園させたことがきっかけで
インクルーシブ教育と家族支援の重要性を知る。

社会福祉士・ソーシャルワーカー

朝日新聞出版 AERAdot.（アエラドット）コラム

『障害のある子と生きる家族が伝えたいこと』 毎月第2・第4火曜日連載中。

我が家の子どもたち

双子の姉妹（17歳）と年子の弟（16歳）

3人とも妊娠8か月で生まれた極低出生体重児

第1子は医療的ケアが必要な重症心身障害児、第3子は軽度肢体不自由児



双子のNICU退院後～ウエスト症候群発症

これだけは避けたいと思っていたことが次々と現れた頃

不安でいっぱいの毎日だった

笑わない

目が合わない

0歳児に複数の服薬開始

発作時間がどんどん長くなっていく

次女にも影響があるのか？

…再び長期入院

そして、第3子の妊娠発覚！



重心児ときょうだい児と軽度障害児



幼稚園探しのきっかけは
言葉を話すようになった息子を見て
「この子にお友達をつくり
教育を受けさせたい」と願ったこと

3歳になっても歩けなかったが、
座っていれば周りの子どもと
大差はなかった。

1歳



2歳



3歳



幼稚園が見つからない

当時、息子のように**膝下のみの障害**で知的に遅れがない子どもは珍しかった。

長女が通っていた児童発達支援センターは重症心身障害児が多く、息子が通うとするとコミュニケーションを取るのは子どもではなく先生になると思われた。

ところが…

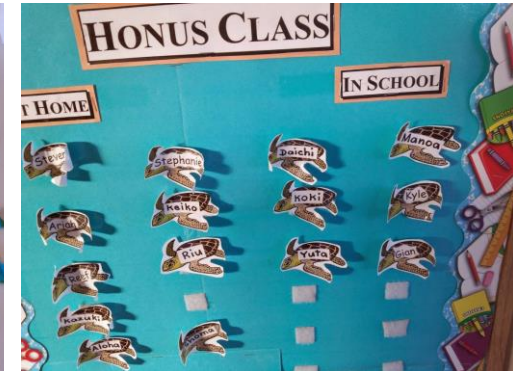
市内すべての幼稚園に問い合わせたが、「歩けるようになったらまた連絡してください」と言われ、息子に会ってくれた園は無かった。



2011年 息子の就園問題をきっかけに 米国ハワイ州へ

何の伝手も
なかったけれど

本物のインクルーシブ教育とは



ある日の プリスクールの子どものスケジュール

8 : 0 0	登園～朝食
9 : 0 0	教会での礼拝
12 : 0 0	ランチ
14 : 0 0	お昼寝
15 : 0 0	スナック
16 : 3 0	お迎え



ひとりで

大丈夫？

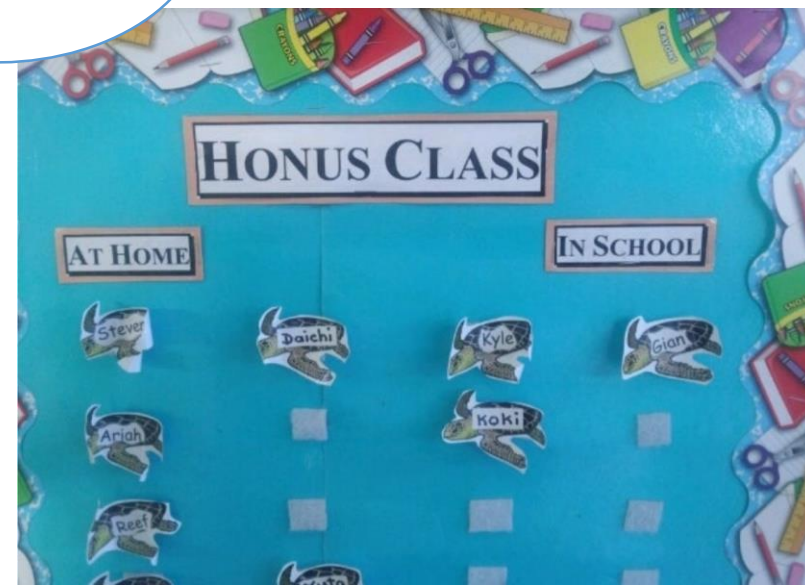
お昼寝の
習慣がない
息子

先生は日本語が
ほぼ通じない

おやつも入れると
食事が3回

息子は簡単な英単語しか分からなかったが、
インクルージョンが当然という文化により、
先生や友人に助けられ、付き添いなしで過ごすことができた。

路線バスの利用しやすさなど、生活環境が充実していたおかげで
大人1人と子ども3人で暮らすことができた。

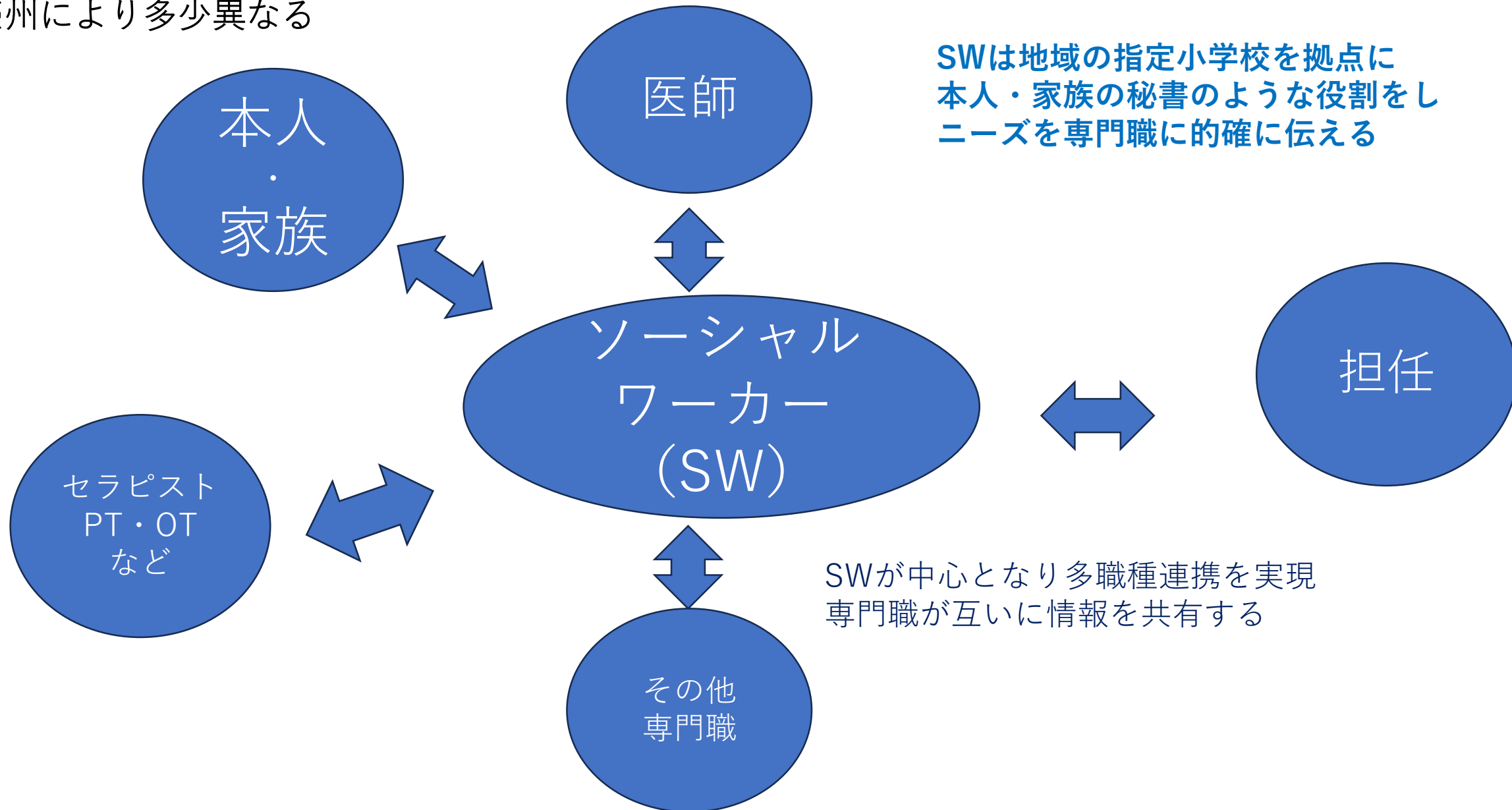


ソーシャルワーカーとの出会い



米国のIEP(Individualized Education Program=個別教育プログラム)とは

※州により多少異なる



息子が通ったプリスクールは、
地元の教会に併設されたとても小さくてローカルな場所だった。

お金？

日本の教育現場で
インクルーシブ教育が
浸透しないのはなぜだろう？

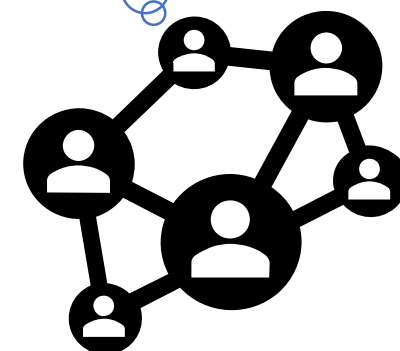
文化？

マンパワー？

子どもには
「子どもだけの世界」
があった

分離保育が主流な日本と
インクルージョンが主流の欧米。

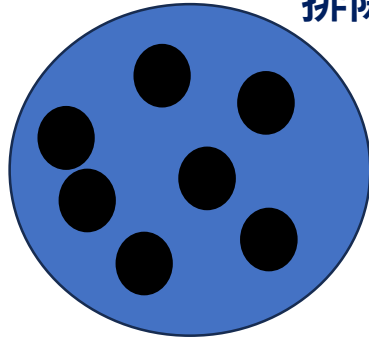
偏見を持たない幼児期から
障害のある子どもと健常の子どもが
一緒に日常を過ごし、
お互いを知ることがとても重要。



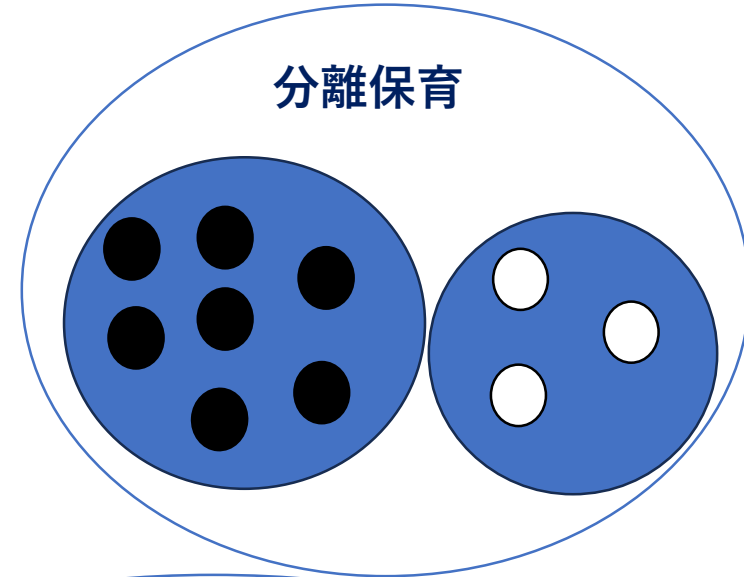
インクルージョンと分離保育

●…健常児
○…支援が必要な子ども

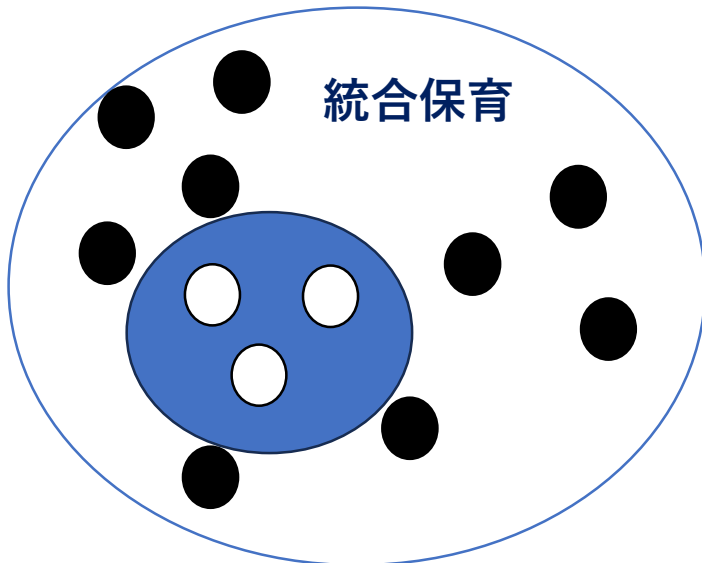
排除



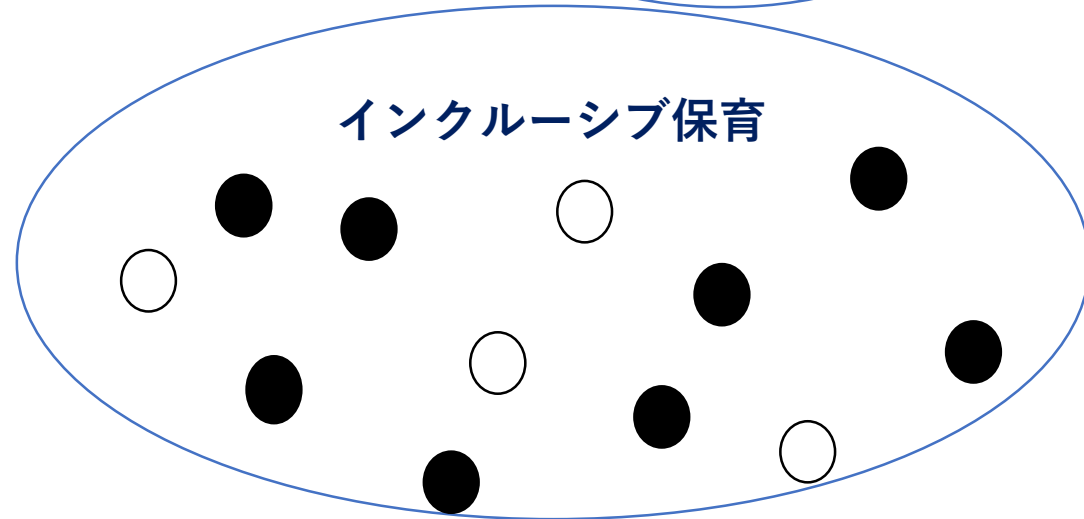
分離保育



統合保育



インクルーシブ保育



※参考文献

小林保子ほか（2017）「子どもの育ち合いを支えるインクルーシブ保育」大学図書出版

インクルージョンが当然の世界観



日本の今後の課題

法整備

『18歳の壁』問題

→卒業後の居場所や
短期入所先の拡充

私立幼稚園の
受け入れ体制の強化と
「いるだけ」ではない
環境づくり

→助成金の拡充
教職員の確保

知的に遅れのない
動ける医療的ケア児の増加

高度医療が必要な子どもほど
社会資源が利用できない状況
の改善

- ・付き添いのために就労できない
- ・レスパイト施設がない

ご清聴ありがとうございました

